



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 17 日

郡山市長 殿

提出者

住 所 福島県本宮市本宮字田中47-2

氏 名 川名建設工業株式会社

代表取締役 橋谷田 邦男

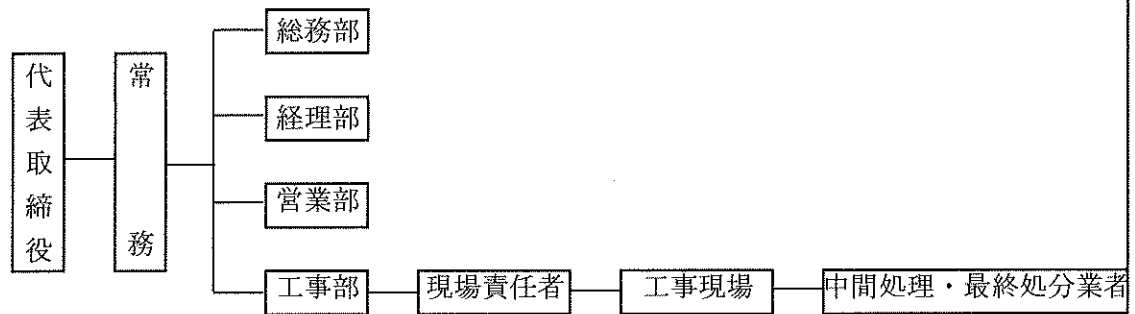
電話番号 0243-33-2755

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川名建設工業株式会社
事業場の所在地	福島県本宮市本宮字田中47-2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高 500 百万円
③ 従業員数	32名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出 事業場 (排出事業者) 収集・運搬 自社運搬 収集運搬業者 中間処理・最終処分 再生業者 最終処分業者 事業場 → 自社運搬 → 再生業者 (排出事業者) → 収集運搬業者 → 最終処分業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	排出量	6.7 t	1,042.00 t
	（これまでに実施した取組） ・再生資源化を推進している業者に搬出するようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	排出量	3.0 t	700.0 t
	（今後実施する予定の取組） ・作業現場での発生量抑制と産業廃棄物毎の分別。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・受注産業の為、工事量に影響されるが、再生材料として利用が可能なように分別し搬出している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・今後も再生材料として利用が可能なように分別し搬出する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

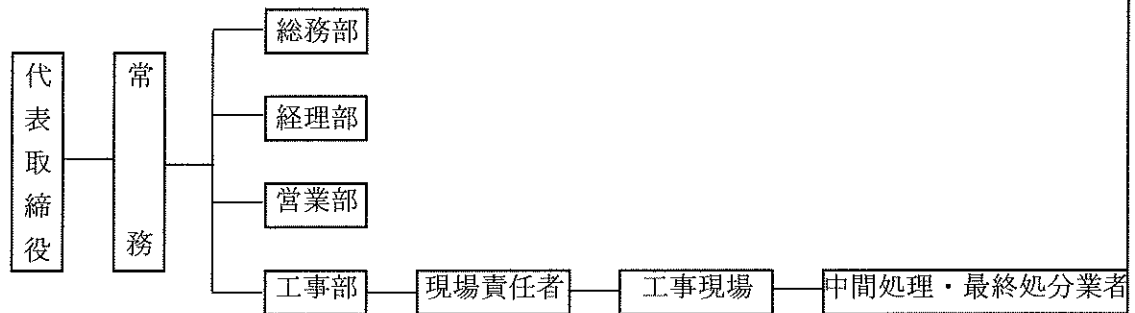
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	全処理委託量	6.7 t	1,042.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6.7 t	1,042.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・発生量全量を再生処分業者へ排出。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリーがら	アスファルトがら
	全 処 理 委 託 量	3.0 t	700.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.0 t	700.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 分別を徹底し排出量の削減に務める。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排出量	1.80 t	0.20 t
	(これまでに実施した取組) ・再生資源化を推進している業者に搬出するようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排出量	1.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組) ・作業現場での発生量抑制と産業廃棄物毎の分別。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・受注産業の為、工事量に影響されるが、再生材料として利用が可能なように分別し搬出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も再生材料として利用が可能なように分別し搬出する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

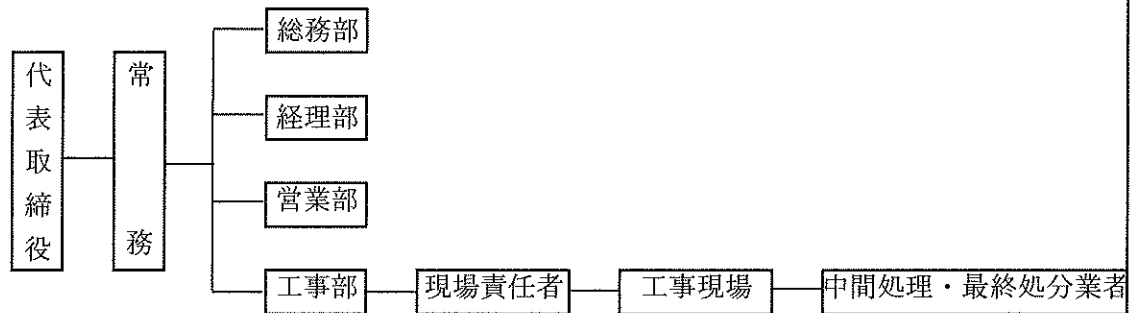
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	1.8 t	0.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1.8 t	0.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・発生量全量を再生処分業者へ排出。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	1.0 t	0.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 分別を徹底し排出量の削減に務める。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	排出量	0.40 t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生資源化を推進している業者に搬出するようにしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	排出量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・作業現場での発生量抑制と産業廃棄物毎の分別。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・受注産業の為、工事量に影響されるが、再生材料として利用が可能なように分別し搬出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も再生材料として利用が可能なように分別し搬出する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	全処理委託量	0.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.4 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・発生量全量を再生処分業者へ排出。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 分別を徹底し排出量の削減に務める。		
※事務処理欄			